

# 長野県における流域治水 の取組について ～長野県～

令和6年3月21日

## 【契機】

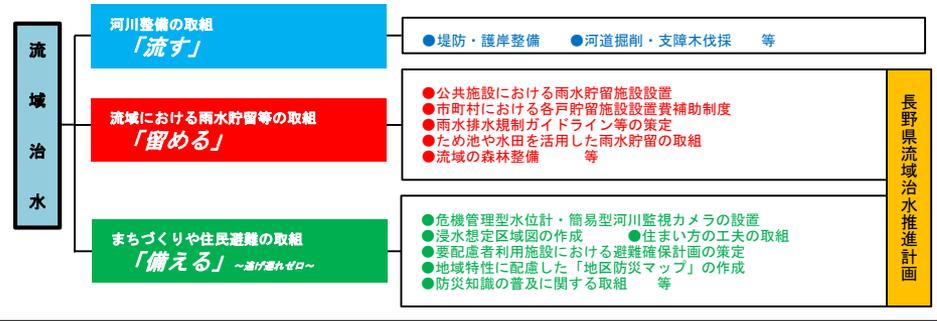
- 令和元年東日本台風や令和2年7月豪雨など、近年、水害が頻発・激化している。今後、気候変動の影響により、さらなる水害リスクの増大が見込まれる中、流域のあらゆる関係者が協働して取り組む「流域治水」への転換が全国的に図られている。
- 長野県では、流域治水に係る各取組について、5か年の数値目標を設定した「長野県流域治水推進計画」を令和3年2月に策定し、計画的・集中的に進めている。



流域治水のイメージ

## 「長野県流域治水推進計画」(令和3年2月策定)

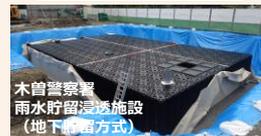
計画期間：令和3～7年度(5か年)  
内容：計画期間内で実施する取組目標を定め「流域治水」を推進



## 令和5年度の主な取組

- 「長野県流域治水推進計画」に位置付けられた各取組の推進
- 県有施設及び市町村所有施設での雨水貯留浸透施設設置
- ため池・水田を活用した雨水貯留
- 支流域の森林整備
- 公共下水道(雨水)の整備
- 市町村における各戸貯留施設設置費補助制度
- 雨水排水規制ガイドライン等の策定
- 浸水想定区域図の作成
- 地区防災マップの作成
- 信州防災アプリ など
- 普及啓発活動(CM放送、ポスター掲示、パネル展)
- 流域治水模型及び学習用動画の製作(R6:防災教育への展開)
- 流域治水の先進事例を見学する「市町村流域治水合同視察会」の開催
- 災害リスクの低い地域への公共的施設の立地や居住誘導の促進に資する水害リスクマップの検討

## 雨水貯留浸透施設の整備



## 普及啓発活動

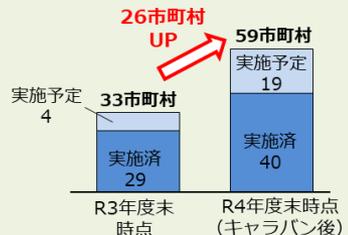


## 流域治水キャラバンの実施

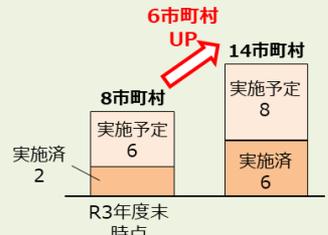
- 「長野県流域治水推進計画」を計画的に取り組むにあたり、市町村が流域治水に取り組むにあたっての課題の共有や解決に向けた先進事例の紹介などを行うため、令和4年度から「流域治水キャラバン」を実施しています。
- 民間の開発行為に対し、流出抑制対策を講じるよう指導することが治水効果の観点から重要と考え、県内77市町村全てで、「雨水排水規制ガイドライン」等を策定していただくことを目指し、主に、未策定市町村を対象に「流域治水キャラバン」を実施 (R4: 50市町村 R5: 12市町村)

- 推進計画の趣旨や内容を改めて説明し、課題等について意見交換や解決策の提案等を行ったことにより、各取組の実施数及び予定数が増加しました。(市町村へのアンケート結果による)

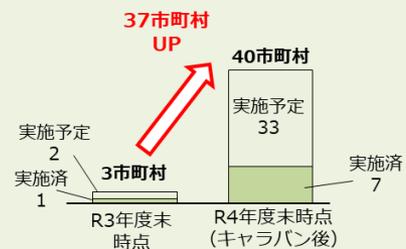
### ①市町村の所有する施設における雨水貯留浸透施設の設置 (目標数: 77市町村)



### ②市町村における各戸貯留施設設置費補助制度 (目標数: 12市町村)



### ③雨水排水規制ガイドライン等の策定 (目標数: 54市町村)



※R4末の数字は、キャラバンにより既に実施済みであったことが判明した分を含む

